

畜産あきた

新年号

2017
1月

「第47回秋田錦牛銘柄確立共励会」開催 最優秀賞は横手市 伊藤重男さん



11月28日から12月1日にかけて秋田県食肉流通公社において、秋田県畜産農協主催の「第47回秋田錦牛銘柄確立共励会」が開催され、盛会裡に終了いたしました。

今回の出品牛は県内で生産された黒毛和種73頭(去勢61頭、雌12頭)でした。秋田県畜産試験場 飼料・家畜研究部 小野寺 亨部長及び、秋田県畜産農協指導業務部 佐藤清朝次長による厳正な審査の結果、横手市 伊藤重男さんの出品された去勢牛「芳智29」号が最優秀賞に輝きました。枝肉単価はkg当たり4,100円でした。優秀賞は高橋長寿さん(秋田市)、ゆりファームさん(由利本荘市)伊藤則夫さん(仙北市)となりました。うまみ賞は伊藤組男さん(大仙市)でした。

尚、共励会の開催にあたり秋田県食肉流通公社様、生産者の皆様のご支援、ご協力を頂き、滞りなく終了することができました。厚く御礼申し上げます。

年頭のごあいさつ



秋田県畜産農業協同組合

代表理事組合長 加藤 義 康

平成29年の新春を迎え、県下畜産農家並びに関係者の皆様に謹んでお慶び申し上げます。

昨年は、熊本地震、北海道の集中豪雨等の予期出来ない自然災害に見舞われる年となりました。被害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

さて、最大の関心事であったTPP参加問題につきましては、政府は拙速に批准に向けた手続きをしたものの、昨年11月に施行された米国大統領選挙で当選したトランプ大統領は、TPPは国益にそぐわないと参加からの離脱を宣言しております。今後は米国の国益を優先することで二国間協議をすすめることを明言するなか、米国内向けの保護主義が高まる世論に対し、日本は新たな譲歩を迫られる可能性も推測され、全く予断を許されない状況です。

そのような中、牛枝肉価格については、堅調な相場で推移しており、子牛価格についても供給量の不足感から過去にない相場展開にあり、今後、恒常的な素牛高による肥育経営への影響が危惧されます。そのため、肉用牛安定特別対策事業の充実により経営の安定化を図ることが肝要であり、一方では、本組合でも攻めの畜産経営を目指すための畜産クラスター事業の継続と十分な予算確保を図る努力をしてまいります。

生産者の高齢化の問題や後継者不足など畜産農家数の減少は避けられない状況にありますが、高い技術と経営能力を持つ担い手が安心して経営を拡大できる施策の構築について、国、県および関係機関に対し働きかける事がこれまで以上に重要性を増すものと思われます。また、販売力の強化については、「秋田錦牛」と「かづの牛」のブランド力強化による流通体制の構築と優位販売に取り組んでいるところであり、加えて「担い手ネットワーク」の若手農家育成と農家経営の一層の発展に向け、積極的に事業を推進してまいります。

本年は宮城県で開催される全国和牛能力共進会の年であります。長崎県で開催された以上の成績が得られるよう皆様とともに取り組んでまいりたいと思います。

最後に畜産農家並びに関係各位のご健勝と県内の畜産経営が更に向上いたしますよう祈念し年頭のご挨拶といたします。

平成二十九年 元日

第47回秋田錦牛銘柄確立共励会開催 最優秀賞は横手市 伊藤重男さん

11月28日から12月1日にかけて、秋田県食肉流通公社において「第47回秋田錦牛銘柄確立共励会」が開催されました。

今回の出品牛は全頭黒毛和種で、去勢61頭、雌12頭の合計73頭が出品されました。審査委員の厳正な審査の結果、見事最優秀賞に輝いたのは、横手市 伊藤重男さんが出品した去勢牛 芳智29号(生後30ヶ月)でした。血統は、父が美津照重、二代祖が百合茂その父が安福165の9でした。枝肉重量583.0kg、ロース芯面積71、バラの厚さは9.0cm、格付等級「A-5」、BMS「12」で、枝肉単価は4,100円、枝肉販売金額は239万300円でした。



〈伊藤重男さん〉

最優秀賞を受賞した伊藤重男さんからお話を伺いました。

●受賞牛について … 増体量(D.G)が高かったので導入しました。この牛の飼養管理におきましては2頭のマスで飼育しておりました。エサは残さない程度にあまり無理させず、定時定量での給餌を心がけました。

血統構成につきましては、2代祖に気高系がくる血統が自分と相性が良いのでいい結果につながったのだと思います。

伊藤重男さんありがとうございました。

〈全体の成績〉

性別	頭数	平均枝重	平均販売単価
去勢	61	534.1kg	2,568
雌	12	473.3kg	2,510
小計	73	524.1kg	2,559



〈最優秀賞受賞枝肉〉

〈受賞牛成績〉

賞	受賞者	格付(BMS)	性別	枝重(kg)	単価(円)	売上(円)	父	母の父	祖母の父
最優秀賞	伊藤重男	A5 BMS.12	去勢	583.0	4,100	2,390,300	美津照重	百合茂	安福165の9
優秀賞	高橋長寿	A5 BMS.12	去勢	662.0	2,930	1,939,660	義平福	勝忠平	福谷福
優秀賞	ゆりファーム	A5 BMS.12	雌	442.0	3,030	1,339,260	美国桜	勝忠平	北国7の8
優秀賞	伊藤則夫	A5 BMS.12	去勢	571.0	3,020	1,724,420	安平茂勝1	篤桜	安福165の9
うまみ賞	伊藤組男	A5 BMS.8	去勢	600.5	2,700	1,621,350	美国桜	福華1	美津福

さいとう ぜんじ
斉藤 善治 さん (68歳)

● 従事者

本人・奥様

● 飼養品種、頭数

日本短角種 (繁殖牛2頭)

今回は昨年10月16日に開催されました、第101回鹿角畜産共進会で日本短角種「さちこ」で優等賞に輝いた斉藤善治さんにお話を聞きました。

父親の代から日本短角種や褐毛和種の繁殖牛を5頭程飼育しており、日本短角種は岩手県から優良な雌牛を導入し、改良に熱心に取り組みました。今回受賞した「さちこ」は岩手県から導入した孫に当たります。

また、昨年10月25日に開催された、鹿角家畜市場において、最高価格で販売する事が出来まして、喜んでおります。

斉藤さんは、数年前に体調を崩してから、奥さんと飼育管理出来る、繁殖牛2頭を飼育しております。

● 飼養管理ポイント

毎年3月頃に子牛が生まれ、集落にある公共牧野に5月から10月まで親子で放牧を行っております。また、冬場には、自給生産した、牧草、ソルゴーサイレージ、稲わらを給与し、低コスト生産に努めております。

● 今後の目標

昔はどこの家にも牛が居たが、今では戸数が減ってしまい寂しいが、牧野組合の仲間に助けてもらいながら牛飼いを出来ることに感謝している。

授賞した「さちこ」は地元繁殖農家に嫁入りしており、良い母牛に成長して欲しいのと、どの様な子牛が生まれるか楽しみにしております。

牛も人も健康に、今後も牛飼いを続けていきたいと、目標を話してくれました。



毎日、優しく管理する奥さんの「智江子」と牛達。



また、春に生まれる子牛に期待しています。

畜産トピックス

～味と香りのややこしい関係～

今回は、味は香りで決まるの？という、ややこしい話です。風邪をひいて鼻が詰まったときは、何を食べても味が分からないという経験をされたと思います。鼻をつまんで食べると、匂いだけでなく味もよくわからないという有名な実験があり、これまで私は、香りの重要性を説明するときにいつもその実験結果を引用させていただいていたのですが、自前のデータを取りました。実験は、33名の方に協力いただき、焼肉をはじめに鼻をつまんで10回ほど噛んで味と匂いの強さを評価し、つぎに指を離して同様に評価してもらいました。評価段階は、感じない：1、弱い：2、やや弱い：3、やや強い：4、強い：5 というスコアを付けましたその結果をグラフにしました。匂いについては、鼻をつまむとほぼ感じないが、指を離すとほぼ全員がやや強いと感じていることから、実験はおおむね成功していることが分かります。ここでのポイントは、肉はすでに口の中にありますので、感じた匂いは、鼻から入ってきたのではなく、のどの奥を通して鼻に抜けた匂いだということです。一方、味についてみると、甘み、旨み、コクは鼻をつまんでも弱く感じますが、指を離すと評価は明らかに強くなっています。よく考えると不思議な話ですね。牛肉の味覚成分は口の中であって、味を感じる細胞（味覚細胞）がその情報を感知していますが、その情報だけでは評価は不十分だということです。甘さを例にとると、舌（味覚細胞）で感じた甘味の情報に、鼻（嗅覚細胞）で感じた甘い匂いの情報が加わって甘さが認識されているということです。さらに、その時に鼻ではなく、舌に甘い味として感じているわけで、嗅覚細胞は、あたかも味覚細胞に華を持たせているかのようです。もちろん、人間は、鼻から吸い込んだ匂い成分については、鼻で匂いを感じます。これは「鼻先香」と呼ばれます。しかし、のどの奥を通して鼻へ入ると、「口中香」と呼ばれ匂いを感じるのに加えて、舌で味を感じるということになります。つまりは、舌で感じる情報と鼻で感じる情報は、よく言えば一体化して、悪く言えば混乱して脳が判断しているということです。香りは食欲をそそり、味を高め、満足感をもたらしてくれます。味と香りのややこしい関係は、他の牛肉にない黒毛和種牛肉の優位性を保証してくれるに違いないと期待しています。

(LIAJ 遺伝検査部 小林 正人)

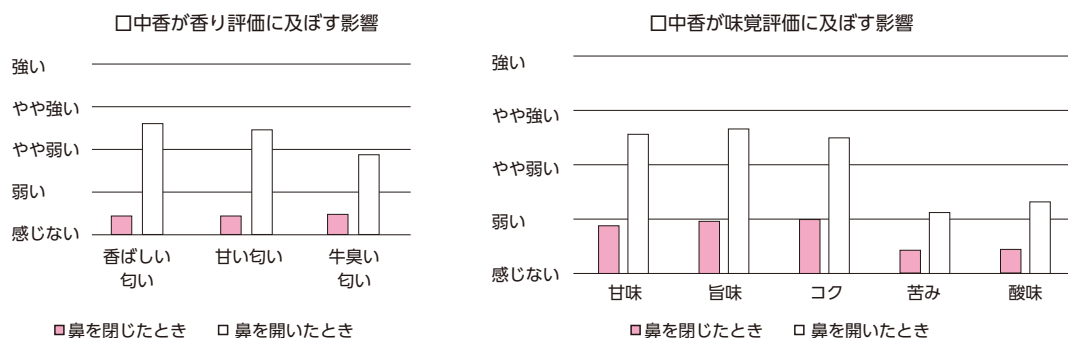


図 口中香が香りと味の評価に及ぼす影響

引用元 LIAJNews161 号より

支 所 だ よ り

◆第42回日本短角種研究会 鹿角市で開催される

11月15日に鹿角市湯瀬温泉の「和心の宿 姫の湯」で、第42回日本短角種研究会が盛大に開催されました。「今こそ短角牛!! ～その魅力を活かした増頭への挑戦～」と題し、鹿角市、東成瀬村、秋田県立大学の各産地からの事例と、飲食店を展開する企業の取組が発表されました。翌日16日には、現地研修会として、当組合鹿角支所で生産する「かづの牛生産育成施設」と「かづの牛工房」の見学が行われました。



総合討議では、活発な意見が交わされました。



全国各地80名の方々が集まりました。

◆「かづの牛の魅力を語る夕べ2016」開催される

11月28日秋田市の「ルポールみずほ」を会場に、「かづの牛の魅力を語る夕べ2016」が、90名程が集まり盛大に開催されました。かづの牛に係るプレゼンとして、かづの牛の特徴・生産振興の取組状況の説明と、県内外で食肉販売に係る関係者による消費拡大の推進に係る意見交換が行われました。その後、かづの牛の旨さ体験(賞味会)が行われ、参加者は学んで、食べて、かづの牛の魅力を楽しみました。



当組合職員による、
かづの牛の特徴・生産振興の取組状況の説明。



かづの牛生産者の湯沢栄喜さんと湯沢政幸さんによる
「鹿角牛方節」を披露。

役員会だより

第3回理事会

開催日時：平成28年11月28日

場 所：当組合役員室

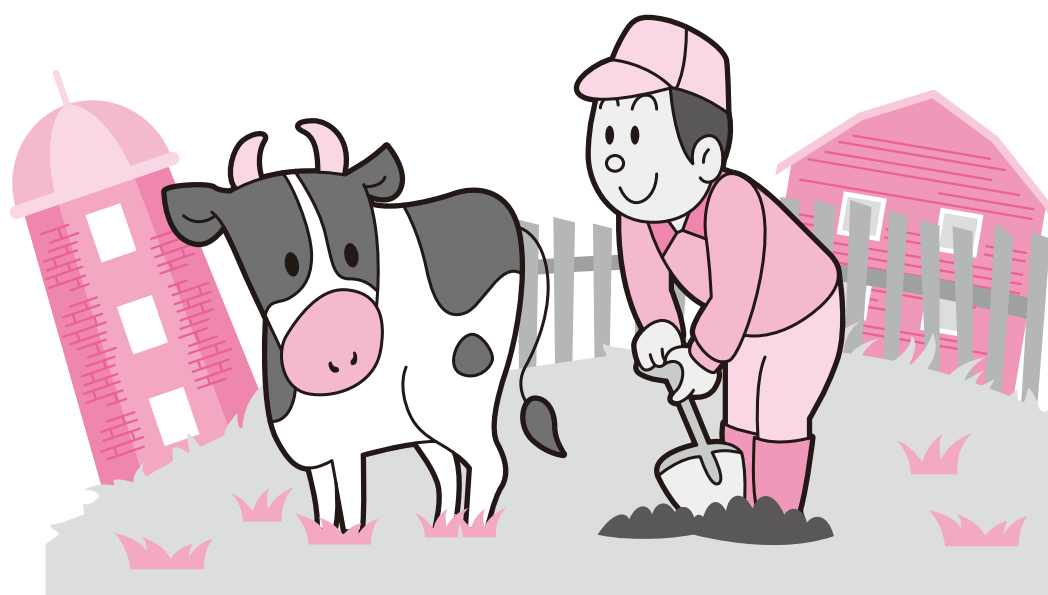
報告事項1 「平成28年度 上半期決算報告について」

報告事項2 「事業進捗状況について」

- ① 主要処理事項と今後の予定について
- ② 各部門の事業損益等の状況説明について

報告事項3 「第101回鹿角畜産共進会及び第14回鹿角畜産まつりの結果について」

協議事項1 「冬期賞与の支給について」



あきた総合家畜市場

平成29年1月期子牛セリ市結果【黒毛和種】

市場名	性別	今回(29年1月)		前回(28年12月)			前年同期(28年1月)		
		頭数	平均価格	頭数	平均価格	増減	頭数	平均価格	増減
あきた 総合 あきた	メス	115	832,849	165	815,027	17,822	110	712,569	119,980
	去勢	167	924,066	156	908,404	15,662	148	781,497	142,569
	計	282	886,868	321	869,886	16,982	258	752,249	134,619

(税込み)

【平成29年 1月期子牛】

去勢高価格順

	種雄牛	2代祖	3代祖	DG	取引価格
1	美国桜	安福久	平茂勝	1.34	1,207,000
2	美国桜	安福久	金 幸	1.20	1,108,000
3	芳之国	安福久	百合茂	1.16	1,106,000
4	福華1	安福久	勝忠平	1.48	1,043,000
5	美国桜	勝忠平	安福165の9	1.41	1,014,000

(税別)

雌高価格順

	種雄牛	2代祖	3代祖	DG	取引価格
1	勝忠平	茂 洋	安福久	1.16	1,200,000
2	菊福秀	安福久	百合茂	1.14	1,002,000
3	幸紀雄	安福久	平茂勝	1.06	948,000
4	好平茂	安福久	平茂勝	0.98	924,000
5	美国桜	勝忠平	第20平茂	1.17	882,000

(税別)

行事予定

1月

11日 あきた総合家畜市場開催日
13日 第4回業務推進会議
23日 第5回業務推進会議
27日 第4回理事会

2月

3日 地区運営委員会
7日 あきた総合家畜市場開催日
9日 第32回畜産組合枝肉研究会
14日 南部地区座談会
17日 中央地区座談会
19日 鹿角畜産講習会、北部地区座談会

3月

7日 あきた総合家畜市場開催日
10日 第5回理事会
下旬 臨時総会、第6回理事会
31日 棚卸監査



※畜産あきたは、年4回
(1・4・7・10月)
の発行を予定しております。